

## 統計グラフコンクール審査講評

平成28年度和歌山県統計グラフコンクールにおいて受賞されました皆様方、おめでとうございます。県下より各部門において合計67点の作品が応募されました。

その作品を、テーマの選択、データ理解、統計グラフの表現技術、正確性、要件の充足状況、全体のまとめ方を重点に審査しました。

その結果、特選3点、入選3点、佳作8点、合計14点を入賞作品として決定しました。

### 第1部 小学校1・2年生の作品

第1部の作品の中から、特選1点、入選1点、佳作1点の合計3点が入賞しました。

「はやね はやおき あさごはん」では、学級でアンケートをした結果を絵グラフにまとめています。調べた項目を、絵グラフ・帯グラフ・円グラフを使って丁寧に表すことができました。配色も工夫されていて見やすい表・グラフになっています。

「なつやすみ ぼくのあさ・ひる・ばんごはん」は、自分の食事について5個の視点から分析をし、絵グラフ・帯グラフ・円グラフで表した作品です。3回の食事の取り方について色分けをしたので食事の様子がより詳しくわかりました。食べた物についても3つの栄養素（黄・緑・赤）に分けて分析をしています。自分の食事について多方面から分析をすることでこれからの体作りに役立つことだと思います。

「しりたい！おしえて！みんなのたべもののこと」では、学級の友達に食べ物の好き嫌いや給食についてアンケートをとった結果を絵グラフで表しています。嫌いな理由までアンケートをとりまとめることができました。製作者はアレルギーがあって給食を食べることができないようですが、少しずつ練習をして克服して行って、早く給食のハンバーグが食べられるようになってください。

どの作品も身近なことに興味を持って、データを集める工夫をしていました。これからも生活の中でいろいろなことに興味を持って、データが見て分かりやすいようにグラフに表して行ってください。

### 第2部 小学校3・4年生の作品

第2部の作品の中から、特選1点、佳作2点の合計3点が入賞しました。「ぼかぼか大作せん きみもわたしもぼかぼかだ！！」では、「ぼかぼかことば」にテーマを絞って学級でアンケートをとり絵グラフで表しました。グラフの結果を見るとぼかぼか言葉のいいところがよく分かり、ぼかぼか言葉を使いたくなってきました。学級にぼかぼか言葉を広げるためにとってもいい大作戦でした。

「虫だいすき！」はたいへん丁寧に作られた作品です。アンケートをとった結果を1人ずつ虫の形で表し男女別でも色分けをし、1つのグラフに2つのデータを入れることができました。大変工夫された作品です。カブトムシが人気ということがわかりました。自分が思ったことも入っているともっといいですね。

「オリンピックがんばれ 日本」は 今年のリオのオリンピックに向けてアンケートをとった結果をまとめています。「今までのオリンピックのきょうぎ数とさんか国数」のグラフを重ねて1つのグラフにまとめています。今までのオリンピックの変化がよく分かり、表現の仕方が工夫された作品です。

どの作品も、それぞれのグラフの特徴を生かした作品でした。

### 第3部 小学校5・6年生の作品

第3部の作品の中から、特選1点、入選1点、佳作2点の合計4点が入賞しました。

「紀州仕立て鮎 日本一！！」では、和歌山で養殖が盛んな鮎をもっと有名にしたいという作者の思いが伝わってきました。養殖鮎の栄養を詳しく調べたり、養殖と天然の鮎の違いを比べたりしてグラフで表しています。グラフも折れ線グラフ、円グラフ、棒グラフなどを使い色使いも考えて見て分かりやすいグラフにしています。和歌山の養殖鮎がみかんや梅のように有名になり日本一になってほしいという思いが伝わってきました。

「ぼくのパパは外国人」は、2005年～2015年の間の日本に住む外国人の数と和歌山に住む外国人の数の変化を比べやすいように重ね合わせて作っています。グラフを見てコメントも加えられていてわかりやすいです。どの国から来ているのかもよくわかりました。色使いもきれいです。

「WELCOME和歌山」は、和歌山県について学級でアンケートをとり、結果をまとめました。和歌山を好きと思っている友達が多くてよかったです。和歌山で有名な観光地をアピールできる場所もわかりました。たくさんの観光客が来てくれるようにこのグラフを役立てることができます。外国人の宿泊数も和歌山市・白浜町が多いこともわかりました。作者の考えたことも書かれているといいですね。

「ぼくの住んでいる街の人の数について」は、来年度合併する本町・雄湊・城北の3つの小学校の児童数や地域の人数が減少してきていることから、和歌山市の小学校の児童数や地域の人数の変化を詳しく調べ棒グラフに表しました。地域によっては増えてきているところもありますが、全体に減っていることがわかります。和歌山市全体のことを詳しく調べることができました。来年度新しくなる小学校でたくさんの友達ができ楽しく過ごしたい作者の思いがわかりました。

第3部の作品は、作品の色使いがどれもきれいで工夫されていました。

### 第4部 中学生の作品

第4部の作品の中から、入選1点、佳作2点の合計3点が入賞しました。

健康のために姿勢を気を付けてほしいという作者の思いが「姿勢美人になろう」というアンケートをとることにつながったと考えています。たくさんの人数にアンケートをとり結果をまとめることができました。姿勢が良いか悪いかという判断基準をアンケートの項目に含めたので、自己分析ができたと思います。グラフも姿勢の資料も分かりやすい書き方で表わっていてよかったです。これをきっかけに姿勢を気にしてくれる人が増えればいいと思います。

「家庭でできる地球温暖化対策」では、地球温暖化が進んでいる中で、原因を調べ、自分たちにできることを考えたグラフです。地球の気温の変化を折れ線グラフで、1人当たりの二酸化炭素排出量を円グラフで表し現状を捉えることができます。解決策を棒グラフで表すことができ、自分たちがすこし気を付ければ二酸化炭素を削減できることがわかります。グラフを追っていくと解決策が見つけれそうです。それぞれのグラフも丁寧にかけていました。

中学生で眼鏡をかけている生徒が多くなってきています。その原因を探るために「大切なあなたの視力大丈夫？」をテーマにまとめた作品です。アンケート結果からスマホやタブレットなどを持ち始めた時期と視力が低下してきた時期が重なることから、関係があるかもしれないと推測ができました。使用する時間も棒グラフに表せることができスマホなどの使い方を考えるいい資料となりました。

### パソコン統計グラフの部

パソコン統計グラフの部から、佳作1点が入賞しました。

「頑張れ！ニッポン！！世界のスポーツの祭典 オリンピック」は、今までのオリンピックの夏季大会について調べたことをグラフで表しました。参加国数や参加者数、メダルの数等について棒グラフで表しました。それぞれにコメントが入っていて作者がグラフを見て発見したことがよくわかりました。東京オリンピックの日本の選手の活躍が楽しみになりました。

以上、各部門ごとに入賞作品を中心に感想をまとめてみました。これからも、身の回りの問題から社会・経済・環境問題まで興味や問題意識を持ったことを訴えるために、調査しグラフ化することに取り組んでほしいと思います。

次回も多数応募されることを期待しています。